

〔講師紹介〕

第3回全通研学校Ⅱ「発達支援(生活支援)」《北海道会場》

2008年7月26日(土)～27日(日) 札幌市視聴覚障がい者情報センター

(〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358 TEL 011-631-6747)

「聴覚障害児・者の
こころとそだち」

京都女子大学現代社会学部教授 河崎 佳子 氏

<講師プロフィール>

専門は臨床心理学。1990年の手話との出会いをきっかけに、聴覚障害者を対象とする心理臨床に取り組み、2000年秋からは1年間ニューヨーク・レキシントンろう学校にて研修。これまで多くの聴覚障害児・者やその家族と出会った体験から、今回「聴覚障害児・者のこころとそだち」について講義いただきます。

講師からのメッセージ「18年間、臨床心理士という立場から、聴覚障害者とその家族への支援に携わってきました。その過程で気づき、学んだことをお伝えし、きこえない人々のこころの健康、きこえない子どもたちの人格形成にとって何が大切かを、皆さんと共に考えてみたいと思います。」

著書に「きこえない子の心・ことば・家族」明石書店、「聴覚障害者の心理臨床」(村瀬嘉代子編)「聴覚障害者の心理臨床2」(村瀬・河崎編)共に日本評論社など。



「未就学聴覚障害者の
相談支援」

札幌市ろうあ相談員 渋谷 雄幸 氏

<講師プロフィール>

札幌市中央区役所でろうあ者の生活に関わる様々な相談に応じ、その生活を護るため、聴覚障害者福祉の最前線に立って業務を行っています。氏の確固とした権利意識に基づく業務姿勢は多くのろうあ者の支えになっています。

また、(社)札幌聴力障害者協会理事長、(社)北海道ろうあ連盟手話通訳対策部長としてろうあ運動のリーダーとして日々運動の先頭にも立っています。

さらに、手話通訳者養成や指導にかかる第一人者として、札幌・北海道のみならず全国的にも講演や講座の講師として活躍しています。

今回のテーマである「未就学聴覚障害者への支援」については、相談員のみでの取り組みでなく、未就学聴覚障害者が社会性を高め、必要な知識を獲得するためにはどのような取り組みが必要なのか、手話通訳活動にかかわっている仲間との連携・役割などを学ぶために大きな力になると思います。



「重複障害のある
聴覚障害者の支援」

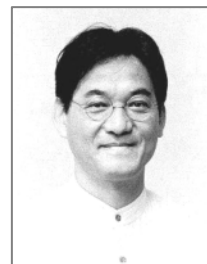
全国手話通訳問題研究会事務局長 近藤 幸一 氏

<講師プロフィール>

1978年に京都ろうあセンターに就職し、手話通訳者としての仕事に携わりました。そして、全通研の事務局長を務めるようになって20年になります。

その間仕事の内容は聴覚言語障害者の更生施設を経て、現在は授産施設等(いこいの村聴覚言語障害センター)で所長を仰せつかっています。

いくつもの重複する障害のある聴覚障害のなかま達が働き、学び、人間らしく暮らしていくための支援を中心に行っています。労働とコミュニケーションを通じた人間発達について日々教えられることばかりです。実践をとして学んだことをみなさんと一緒に考え、深め共有できればと考えています。よろしくお願いします。



申込先:各全通研支部

申込締切り 2008年 6月 6日(金)